

主催：ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟  
共催：佐渡市 後援（要請中）：佐渡社会福祉協議会、JA佐渡、佐渡漁協、佐渡地区労福協

支え合いの地域づくり講演会

# 懐かひのミロイ入

- In the dear future -

と き：**3月16日（土）14:00～16:30**（受付13:30～）

と ころ：**あいぽーと佐渡** 多目的ホール  
（佐渡市両津夷384-11）

対象者：地域づくりを担う地域団体の方／医療・福祉とまちづくりに  
関心のある事業所の方／商工会・民生委員・老人クラブの方  
／これからの佐渡経済を考えている企業の方／JA・漁協・生  
協など協同組合関係の方／市議会議員の方（各政党の方）／  
行政・社協の方／佐渡に住む全ての方

参加費  
**無料!**  
定員**200名**  
（申込不要）

オープニング

申込不要

**佐渡文弥人形 上演**

佐渡市野浦「双葉座」

必見の身のこなし!



70歳のお年寄りが若者ができない  
3kgもの人形を片手に  
1時間以上もこなす  
体捌きとリズム感がすごい!

基調講演

申込不要

**希望ある佐渡を創るために、  
今私達ができることを考えよう**

講師

**山本 伸司** 氏（旧両津市野浦の出身）

パルシステム連合会\*顧問。2015年同連合会理事長を退任して種子島に移住している。他に一般社団法人本場の本物ブランド推進機構 理事長。日本の種子を守る会 幹事長。種子島では、伊関集落にて福島からの避難移住の若者たちと里山保全やサトウキビ栽培と黒糖作りなど、新しい暮らしづくりに挑戦しています。  
現住所〒891-3221鹿児島県西之表市伊関1115番地

\*パルシステム連合会：パルシステム連合会は、首都圏を中心とした地域生協が加入する生協の連合会です。事業高2100億円 組合員152万人。



**会場からの質疑・発言**

**懇親・交流会（講演会終了後）** **要申込** 電話：0259-67-7317（担当：地域支え合い推進員 金岡）

同会場、立食にて懇親・交流会を参加費2,000円で計画しています。是非、ご参加ください。

佐渡市生活支援体制整備事業受託事業（東圏域）

主催・  
企画運営

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟  
（新潟市西区小針南台3-16／電話025-378-6181）

お問合せ  
お申込先

ささえあい広場  
（佐渡市両津福浦2-15-17）

電話：0259-67-7317

（担当：地域支え合い推進員 金岡恵美子）

# 希望ある佐渡を創るために、 今私達ができることを考えよう

講師 山本 伸司 氏 (旧両津市野浦の出身)

## 地域総合福祉（ノーマライゼーション）を目指す（村は大家族）

### 1. 基本

老若男女誰もが自分らしく生きられること  
誰一人排除しない社会作り  
国連SDGs（世界の2030年目標）

### 2. 大切なこと

いままでの経済や暮らし方に代わる新しい社会づくり  
昔のムラのように共に生きる新しい地域社会づくり

#### (1)協同

お金の回し方（互いにシェア）  
仕事の仕方（金のためじゃなく人のために）  
技術（手仕事と物作り）  
所有からシェアへ

#### (2)哲学の確立（理念）

自分らしさとは  
未来から生きる（過去の延長じゃなく）  
目的と目標の明確な確立  
事件事故と問題発生、その解決手法  
コミュニケーションの大切さ（トーキングス  
テック）  
美しい生きかた

#### (3)村の資源

年寄り（生きた百科事典、生の歴史存在）  
山と海  
里山（雑木林、竹林、生物多様性とお宝）  
里海（海藻、貝類、魚、イカ、タコ）  
自然と栽培（陸上養殖）  
伝統技術の復活再生とその魅力

#### (4)どのように展開するか

宮本常一（民俗学、鼓童、音楽、神楽、おけさ柿、味噌  
づくりなど地元ブランド）  
協同組合（顔の見える関係でのフードシステム構築）  
子ども食堂（みんなで作りみんなで食べること）  
音楽、スポーツ、文化、を基本に食と農の新たな展開を

#### (5)例えば

佐渡市野浦の「双葉座」（文弥人形）上演  
70歳の年寄りが若者ができない3kg人形を1時間以上  
も軽く動かす身のこなし  
これが有機農業を育てる  
雑木林の遊歩道と植物学の結合  
わかめだけじゃなく、ツル藻、銀葉草、など地元希少種  
の海藻栽培  
原木椎茸、他に様々なキノコ類の天然栽培  
希少種の苗作りと販売  
古民家協同再生と都市の大学との協同  
などなど

## 佐渡文弥人形とは

国の重要無形民俗文化財指定を受けている、古浄瑠璃という人形芝居。

主に太平記の源平合戦などの歴史物語を上演する。佐渡各地の村に残る農民文化の代表とも言える。その文弥人形を演じる「双葉座」は小佐渡東海岸の野浦集落にあり、その近くの片野尾には農民歌舞伎座もある。

これらは農民が演じるが本格的な技力があり、文弥は3kgもの重さの人形を片手で1時間以上もこなす体捌きとリズム感が見ものです。

こうした農民文化は全国の神楽に代表されるように、村人の精神世界を形作る。昨今、経済発展の視点のみがもてはやされるが、農の新たな価値創造として注目される。

佐渡は、トキを頂点とする生物多様性の復活と自然共生を目指す有機農業の島づくりが望まれる。その中心に芸術と文化が位置付けられる。世界からも注目される、新たな村づくりの象徴ともなり得ると言える。

佐渡市生活支援体制整備事業受託事業（東圏域）